

各章の分析から主に分かったこと

< 章 >	< キーワード >	< 分かった内容 >
第3章2・ 第3章9	リピーター（2回以上の来島実績） 熱烈ファン（4回以上の来島実績）	北海道や沖縄に比べ、リピーター、熱烈ファンとも非常に少ない 北海道や沖縄は、リピーターに占める熱烈ファンの割合が高い 熱烈ファンの特徴（今回アンケートより） 再来島の意向が、非常に強い 再来島までの経過年数が、明らかに短い
第3章4	佐渡の競合先	まず東北、次いで北海道や北陸、九州、沖縄 こうした関係もあり、東北からは人口に比べ佐渡への観光客数は他地域に比べ少ない
第3章5・ 第4章	パッケージツアー利用状況	北海道や沖縄に比べ、パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の利用割合が高い パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の利用割合は、レンタカーの利用割合と相関がある…沖縄の場合 北海道や沖縄では、パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の利用割合は、近年、低下傾向にある パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の利用割合は、20代以降、年齢階級にみると、年齢が上がるにつれ増加する。 これは、島内移動の困難さが、特に中高年層において大きな制約要因になっているためと推察される パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の利用により、効率的に島内を周回できる
第3章6	島内の観光状況 (27の主要地域・施設等の訪問状況)	訪問割合の高い上位3つは、佐渡金山、トキの森公園、尖閣湾 このほか、小木たらい船、佐渡能楽の里（道の駅）、酒蔵見学、温泉、歴史伝説館（以上5つ）でも高い 全体での訪問割合の高いもの パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）の訪問割合が高いもの 訪問割合の高い上位8つは、訪問回数が3回以上になると、訪問割合が低下する。 3回以上になると、訪問割合が高くなるものは、別に存在する。 パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）等で立ち寄る機会が多く訪問割合（全体）が高い地域資源と、リピーターを誘導するうえで戦略的に重要な地域資源では異なる可能性有り 地域資源（27の主要地域・施設等）の特徴はマチマチ 例1 パッケージツアー利用状況により、訪問割合があまり変わらないもの（温泉等）、大きく変わるもの（酒蔵見学等） 例2 西三川ゴートパークは40代未満、寺社関連は総じて50代以上の、能舞台は60代以上の訪問割合が高い 例3 パッケージツアー（観光ルートの決まったもの）、パッケージツアー（フリープランほか）、パッケージツアーではない 各々の訪問割合 (注) 佐渡金山、トキの森公園、尖閣湾は、パッケージツアーの利用状況によらず、相当に訪問割合が高い
第3章7	広域観光	広域観光（佐渡および他地域を観光）の実施割合は26.7% (うち県内・県外の両方 3.7%、県内のみ15.7%、県外のみ4.5%、不明2.8%) 広域観光先は、新潟市（ふるさと村、朱鷺メッセ、岩室温泉ほか）が圧倒的に多い。 他は、新潟市（月岡温泉）、寺泊町、村上市（瀬波温泉、街並みほか）、上越市、柏崎市ほか
第3章8	支出状況（島内ほか）	パッケージツアーでない方が、支出金額にバラツキ（同じ2泊3日でも、金額が大きいものから小さいものまで） 1泊当たり宿泊費： ・県内平均並み ・全国平均よりやや安い 1人当たり土産代： ・全国・県内平均より、かなり高い ・県外客は県外客の約2倍 ・60代が最も高く、次いで70才以上、50代
第3章9	再来島の意向	県内客の方が県外客より、強い 熱烈ファン（4回以上の来島実績）は、非常に強い 60代・70才以上、次いで40代、20才未満は、他の年齢階級に比べ弱い
第4章	佐渡の分野別評価 (自由意見（今回アンケート）)	評価が高い：「自然」、「サービス（交通）」、「文化・歴史」 (注) 自然が、文化・歴史を、評価の数・内容で圧倒している 評価は分かれる：「食べ物」 (注) 「佐渡では、当たりが良ければ、美味しい食べ物に遭遇できる」と指摘する回答者もあり 評価は低い：「料金（交通）」、「情報提供」、「サービス全般」、「その他（交通）」、「利便性（交通）」、「宿泊施設」 (注) ・料金（交通）は、「失望・不満」の意見の数が最も多い。 中でも、船、駐車場に関するものが多い ・情報提供は、「感動・評価」の意見が皆無等、厳しい評価にある。内容は多岐にわたる ・サービス全般は、関係者の基本的姿勢に係わる指摘が多い ・利便性（交通）は、島内移動の困難さ（手段、便数、接続ほか）に係わる指摘が多い ・宿泊施設は、清潔さ・手入れ、施設の老朽化、機能の不備・施設配置、バリアフリーへの対応に係わる指摘が多い 留意点：「佐渡の活気のなさ」を指摘する意見が多い 留意点：「佐渡島民の人柄」（高い評価）、「サービス全般」（低い評価）では、評価は正反対
第5章1	交流人口に占める観光客の割合 (平成12年、推計)	全国207地域の中で、佐渡は第1位（80.3%） (注) 2位 日光(79.4%)、3位 伊勢志摩(68.0%)、4位 宮古・八重島(65.8%)、5位 水上、南紀白浜、伊香保(64.8%)
第5章2	佐渡観光の全国シェア (平成15年 宿泊観光、推計)	全体：0.40% 年齢階級：60才以上(0.61%)と50代(0.55%)で高く、20才未満(0.19%)、40代(0.26%)で低い 同行者形態：夫婦(0.69%)、ひとり旅(0.66%)で高く、家族(0.24%)で低い 年齢階級×同行者形態： 50代ひとり旅(2.14%)、40代ひとり旅(1.50%)、60才以上夫婦(0.89%)、60才以上その他(0.73%) 50代夫婦(0.72%)、30代夫婦(0.71%)で高い

(出所) 政策銀作成